

1 基本項目	事務事業名	県立・県定公園施設維持管理事業			担当部署	課名	農林水産課	
	予算事業名	県立・県定公園施設維持管理費				係名	業務林政係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1036		
	事業期間	開始年度	平成5年度以前	終了年度	当面継続	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標 5 豊かな自然と共生したまち			算科目目	款	農林水産業費
		政策名	12 自然環境の保全・継承				項	林業費
		施策名	35 水と緑の保全と活用				目	林業総務費
基本事業名		35-4 自然の活用と公園の整備			アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	松倉城跡県定公園、片貝県定公園、僧ヶ岳県立自然公園内の施設等に関する整備事業	
	対象	自然公園の利用者と公園内の施設	
	手段 (活動指標)	自然公園内における施設維持管理	
	意図 (成果指標)	自然公園内の施設等を適正に維持管理する。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 光熱水費	円	144,000	167,814	144,000	96,986	67.4%	144,000
	② 修繕料	円	1,600,000	1,526,700	800,000	771,822	96.5%	400,000
	③ 委託費	円	810,000	810,000	810,000	810,000	100.0%	810,000
	① 整備箇所/整備必要箇所	%	100	100	100	100	100.0%	100
	② 委託箇所/委託必要箇所	%	100	100	100	100	100.0%	100
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	1,762,103	1,714,017	1,000,000	895,554	-47.8%	600,000
	② 委託料	円	810,000	810,000	810,000	810,000	0.0%	810,000
	③ 工事請負費	円	1,500,000		1,500,000	1,404,000		1,500,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	318,897	318,084	295,000	278,903	-12.3%	304,000
	支出合計 (A)	円	4,391,000	2,842,101	3,605,000	3,388,457	19.2%	3,214,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	750,000		750,000	750,000		750,000
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	3,641,000	2,842,101	2,855,000	2,638,457	-7.2%	2,464,000
	収入合計	円	4,391,000	2,842,101	3,605,000	3,388,457	19.2%	3,214,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	180	180	180	180	0.0%	180
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	756,000	756,000	756,000	756,000	0.0%	756,000
	総費用 (A+B)	円	5,147,000	3,598,101	4,361,000	4,144,457	15.2%	3,970,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○松倉入城の門広場、升方緑地施設、平沢農村広場の施設管理を行った。</p> <p>○林道鹿熊線、鹿熊城線、下樺升方線の草刈作業を5月に行った。</p> <p>○升方緑地施設トイレ修繕工事を4月に発注した。</p> <p>○僧ヶ岳県立自然公園整備事業 登山口駐車場整備工事を1月に発注した。</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	自然公園内の施設維持管理であり、妥当である
対象の妥当性					1 妥当である	自然公園内の施設維持管理であり、妥当である
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	概ね計画どおりである
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はない
				上位施策への貢献度	1 高い	自然を体感し、親しむ機会を増やすために行う事業であり、貢献度は高い
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	地区と協力し維持管理に努めており、コスト効率は高い
				実施主体の適正化	1 適正である	地区と協力し維持管理に努めており、適正である
				負担割合の適正化	1 適正である	自然公園内の施設維持管理であり、適正である
	1次評価 (課長総括)	A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	2次評価	不要
	後の方針 (評価結果)	自然公園などの豊かな環境や歴史的資産を適切に維持、管理しながら、これを有効に活用することは、本市の活性化にとって重要なことである。			評価結果	